

平成27年度日本小児外科学会
第5回定例理事会議事録

日 時：平成 27 年 10 月 28 日（水） 10：00～14：00

会 場： くまもと県民交流館パレア 10 階 会議室 7

出席者：黒田達夫（理事長）、猪股裕紀洋（秋季シンポジウム会長）、田口智章（理事・会長）、越永従道（副理事長）、仁尾正記（理事・副会長）、八木 實、漆原直人、米倉竹夫、奥山宏臣、山高篤行、広部誠一（以上理事）、上野 滋、濱田吉則、前田貢作（以上監事）、菱木知郎（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、藤野明浩（庶務副委員長）、浦尾正彦（財務会計副委員長）、木下義晶（庶務委員）、堀口裕輔（事務局）

議事案件：

議 事：

1. 第5回定例理事会の議事録署名人は、米倉竹夫理事、広部誠一理事とした。
2. 猪股裕紀洋会長より第31回秋季シンポジウムについて開催準備状況が報告され、了承された。
3. 平成27年度第4回定例理事会議事録につき、事前配信された内容について確認され、了承された。

4. 報告事項

1) 理事長報告（黒田理事長）

黒田理事長より前回理事会から本理事会までの間に受領した郵便物が4点あり、内容報告は次回理事会とすることが報告され、了承された。

2) 総合調整委員会報告について（越永委員長に欠席により黒田理事長）

菱木庶務委員長より、資料に基づき、以下の委員会報告があり、了承された。

・ 学会の法人格の在り方について

- ① 本学会公認会計士の馬目氏を招聘し、法人格をめぐるこれまでの経緯と NPO 法人と一般社団法人の比較について情報提供があった。
- ② 総合調整委員会の意見として、代議員制度を取りやすい面でも社団法人変更のメリットがあり、会員数を増やすためにも有利である点、確認された。
- ③ 公益社団法人になれば寄付を受け入れやすくなるなど一定の利点がある反面、事務委託料は倍増するだけでなく、事務作業は非常に増えるなどの課題もあり、今後慎重に検討すべきである女性評議員を増員するための抜本的・長期的な方策については継続審議事項とする。

- ・ 会費値上げの具体的な方策について
 - ① 黒田理事長、田口会長、山高理事と Pediatric Surgery International 側 (Puri 教授) との交渉により PSI オンライン購読 400 部を 1 部あたり 75 ユーロ (約 400 万円) で購入することで合意が得られたことが報告された。
 - ② PSI オンライン購読料増加分の財源として、1) 従来通り購読者を募る方法 2) 会費 (または専門医登録料) に添加する の二案が挙げられることが確認された。
 - ③ PSI 購読を含めた財政策については昨年の評議員会で理事会に一任されている。評議員会費 3 万 (PSI 購読込み)、一般会員会費を 1 万 5 千円とし、PSI 購読希望者は 75 ユーロで購読してもらおう、という案を理事会に挙げ、会員にパブリックコメントを求めた上で、来年の評議員会・総会での決議をめざして今後審議を深める。
- ・ ガイドライン作成の取り組みについて

学会員より、学会の重要な事業としてガイドラインの作成に取り組むべきであるとの意見があった。これを受けて懇談的に意見交換がなされた。

5. 審議事項

1) 第 53 回学術集会について (田口会長)

田口会長より資料に基づき、プログラム準備状況が報告提案され、承認された。

日時：平成 28 年 5 月 24 日 (火)、25 (水)、26 (木)

会場：ヒルトン福岡シーホーク

テーマ：「わ」をもって尊しとなす—小児外科医療の和・輪・倭—

※オープニングセレモニープログラム案および海外招待者案が報告され、承認された。

2) 第 54 回学術集会について (仁尾副会長)

仁尾副会長より、現在の準備状況が報告され、承認された。

3) 庶務委員会報告 (菱木委員長)

菱木庶務委員長より、資料に基づき報告がなされ、承認された。

2015 年 9 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,869 名 (うち海外 3 名)、評議員 311 名、名誉会員 53 名 (うち海外 8 名)、特別会員 70 名 (うち海外 1 名) の合計 2,303 名である。

4) 財務会計委員会報告 (渡井委員長)

渡井委員長より、資料に基づき以下提案がなされ、承認された。

- ・ 資料に基づき PSI オンライン購読料の支出増加の可能性および収入減少の懸念について、資料を基に様々なシミュレーションが報告された。これを基に総合調整委員会報告にある評議員会費 3 万 (PSI 購読込み)、一般会員会費を 1 万 5 千円とし、

PSI 購読希望者は 75 ユーロで購読してもらう案に絞られたことが報告され、承認された。

- ・ 医師賠償保険について委託業者である代理店 マツオホケンサービスとの契約更改について、より契約者を増やしていく方法を検討の上、次年度の引続き委託することが提案され、承認された。

5) 各種委員会報告および審議事項

(1) 国際・広報委員会報告（黒田理事長）

黒田担当理事より、以下報告・提案があり承認された。

- ・ ホームページの掲載内容について全面的に見直す予定で、作業の検討にかかっていることが報告された。

(2) 機関誌委員会（奥山理事）

奥山担当理事より、資料に基づき、以下報告・提案があり承認された。

- ・ 直近の査読状況が報告された。
- ・ 投稿規定改訂につき、以下の点が提案され、承認された。
 - ① 「表、図は番号を付し原稿の右欄外に挿入箇所を明記してください。」削除
 - ② 「Word ファイル（Windows 版、OS は Windows2000 以上）」の縛り削除
 - ③ 「刷り上がり 3 分の 1 頁（52 字×13 行）」以内で入稿されても、B5 サイズ 1 頁内に 3 つのお知らせを掲載するスペースが無いので、1 頁に 2 つのお知らせを掲載することになる。そこで、実情に合わせ、「刷り上がり 2 分の 1 頁（47 字×20 行）を超えない範囲で」という規定に変更

(3) 保険診療委員会（広部担当理事）

広部担当理事より、資料に基づき以下報告があり承認された。

- ・ 外保連手術試案における医療技術の新しい評価軸について、外保連手術委員会では医療技術の新しい評価軸検討WG（座長：川瀬弘一）が立ち上がり、新しい評価軸として5項目が決定した。これに該当する術式として、平成26年度改定で減点されたものと平成28年度改定で減点される可能性のあるものを中心に計55術式が選定され、平成28年度改定要望に盛り込まれる予定となった。
- ・ 外保連委員会とそのWGにおける当委員会内の担当者を以下の通りにした。

実務委員会：広部誠一理事

手術委員会：小高明雄委員、田中裕次郎委員

コーディングWG：田中裕次郎委員

医療材料・医療機器WG：新井真理委員

（川瀬弘一顧問は外保連手術委員長に昇格したため担当より除外）

処置委員会：小高明雄委員、檜頭成委員

検査委員会：鈴木孝明委員

生体検査コーディングWG：鈴木孝明委員
画像診断試案作成WG：鈴木孝明委員
生体検査に係わる医療材料WG：矢内俊裕委員
内視鏡検査の適正な診療報酬評価に関するWG：小高明雄委員
麻酔委員会：井上幹也委員

(4) 教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、資料に基づき以下報告があり承認された。

- ・ 日本医学会分科会用語委員会が平成27年12月1日に開催予定であり、委員長とともに出席する旨、報告された。

(5) 悪性腫瘍委員会（米倉担当理事）

米倉担当理事より、資料に基づき以下報告された。

- ・ 第1回拡大悪性腫瘍委員会につき、資料に基づき、報告された。
- ・ 2014年次悪性腫瘍登録集計について、スケジュールは例年通りであることが報告された。

(6) 学術・先進医療検討委員会（八木担当理事）

八木担当理事より、資料に基づき以下報告があり承認された。

- ・ 平成27年9月29日の平成27年度第4回理事会で2013年新生児アンケートについて、名誉会員の先生から「機関誌に従前のような新生児外科アンケートの委員会報告が必要」とのご意見を勘案し投稿をお認め戴きましたが、機関誌委員会との折衝の後、平成27年12月号の51巻7号に掲載予定となった。
- ・ 会員対象のアンケート調査依頼の審査および認可
平成27年8月25日に、平成26-28年度厚生労働省科学研究費難治性疾患等克服研究事業・難治性疾患政策研究事業「小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究（班長：田口智章先生）」及び「小児呼吸器形成異常・低形成疾患に関する実態調査ならびに診療ガイドライン作成に関する研究（班長：臼井規朗先生）におけるリンパ管腫（嚢胞性リンパ管奇形）症例調査の審議依頼が藤野明浩先生からあった。委員会内審議のうえ修正要望点を提示し回答をいただくやりとりを4回行い、平成27年9月29日に委員会での審議を終了し10月2日に依頼者へ審議終了通知を行った。同日、担当理事に委員会修正案を報告し、10月2日～9日まで理事会メール審議が行われ10月10日に承認され依頼者に通知した。

(7) 倫理・安全管理委員会（漆原担当理事）

漆原担当理事より、前回理事会より進捗事項なしである旨、報告された。

(8) データベース委員会（米倉担当理事）

米倉担当理事より、資料に基づき以下報告・提案があり承認された。

- ・ 第2回NCD-小児外科領域会議を以下日程で開催することが報告され、承認された。
日 時：2015年10月31日（土曜日）7：40(7:45)～8：15
会 場：くまもと県民交流館パレア
議 案：①NCD-P 入力の Q&A (FAQ) ②NCD 新小児外科診断入力マスターの紹介③質疑応答
- ・ FAQ、NCD小児外科領域アニュアルレポート暫定データ(2011年度、2012年度)が資料に基づき報告され、ホームページへ掲載されたことが報告された。
- ・ 小児外科診断マスターの改訂、NCD-P入力マニュアルのHPへの公開、NCDへの小児外科からの改訂術式要望書の提出について、メール持ち回り審議の結果を要望したことが報告された。
- ・ Audit/site visitの運用について、NCD側および他領域側での現状も含め、その紹介を行った。
- ・ 第17回NCD運営委員会議事録につき、NCDを用いた横断型研究プロジェクトの方針およびauthorshipについて、資料に基づき報告された。
- ・ 第18回NCD運営委員会への要望の有無が確認され、要望する際は米倉担当理事へ通知することとなった。

(9) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、以下報告があり承認された

- ・ 秋季シンポジウム中に、委員会を開催し、次回小児救急セミナー・小児救急受入状況の検討をする予定である。
- ・ 12月12日に小児救急連絡協議会が開催予定であり、吉澤委員長が出席予定である。

(10) 利益相反委員会（漆原担当理事）

漆原担当理事より、前回理事会より進捗事項なしである旨、報告された。

(11) ワークライフバランス検討委員会（広部担当理事）

広部担当理事より、資料に基づき、以下報告があり承認された。

- ・ 第3回ワークライフバランス講演会
第31回秋季シンポジウム・PSJM2015 会期中開催 10月29日（金）19時～19時50分
講師：ゼムケンサービス代表取締役 籠田淳子氏
- ・ 第116回日本外科学会学術集会における特別企画6:女性外科医の活躍推進一ダイバーシティ時代を迎えて一に参加するにあたり、広部担当理事および中原委員長の抄録内容が資料に基づき、報告され、承認された。

(12) トランジション検討委員会（広部担当理事）

八木担当理事より、資料に基づき、以下報告があり承認された。

- ・ 2015 年より常設委員会として継続が決定されたため、半数の新委員を含めた委員会を発足させた。新委員は、成育医療研究センターが中心となって関わっている移行支援モデル事業に携わる施設や、大学病院、総合病院の立場で移行期医療に関わっている施設から参加してもらった。
- ・ 小児外科疾患の移行期支援ガイドブックについて、現在草案が提出されているので、11 月末を目途に形式や分量をまとめ、小児外科学会内でパブリックコメントを募集し、問題なければ来年早々にホームページに公開することを目指していく。
- ・ 今期委員会の報告性として、①病態別患者用サマリーの作成 疾患と内容の設定、②厚労省の小児慢性疾患移行期支援モデル事業との協同、③移行期医療についての患者家族への啓蒙、④重症心身障碍児に対して、病態理解や施設協力を得るために、ガイドブックに準じた書類準備、の 4 点としていくこととする。

6) 臓器移植関連学会協議会代表委員について（黒田理事長）

黒田理事長より、臓器移植関連学会協議会代表委員および関連の 3 つのワーキンググループについて、現在のところ役員の中から委員として派遣いるが、審議内容に実質的に対応可能な先生を派遣していくため、代表委員を含め、変更することが提案され、承認された。派遣委員候補者については、理事長預かりとして、次回以降理事会で報告することとなった。

9) 小児医学川野賞の研究助成に関する推薦について（黒田理事長）

黒田理事長より、資料に基づき、家入里志先生（鹿児島大学小児外科）より、小児医学川野賞の研究助成申請について、学会として推薦をいただきたいとの依頼があったことが報告され、審議の結果、推薦することが承認された。

10) 次回定例理事会日程の確認（黒田理事長）

次回理事会は平成28年1月12日（火）11：00～16：00 日本外科学会会議室にて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____